

よこのさんのうばら
横野山王原遺跡

秦野市No.97

- 調査期間** 2014年10月1日～調査中
- 所在地** 秦野市横野
- 時代** 近世、中世、奈良・平安、弥生、縄文
- 調査原因** 中日本高速道路株式会社による新東名高速道路建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査
- 遺跡位置** 秦野市北部横野地区、唐沢川と矢坪沢に挟まれた台地上、渋沢駅の北側約4kmに位置する。



主な調査成果

横野山王原遺跡は、新東名高速道路秦野サービスエリアの建設に伴い、およそ5万㎡の範囲を対象に調査しています。近世では、1707（宝永4）年の富士山の噴火により降り積もった火山灰を処理するために掘られた溝や土坑が規則正しく並んでいました。天地返しと呼ばれ、火山灰に埋もれた耕作地を復興する作業が、広範囲に展開していました。

縄文時代の調査では、早期後半の条痕文系土器を伴う住居跡や集石、陥し穴状の土坑が発見されました。住居跡は、大きさや形が様々で、掘り込みや柱穴が不明瞭なものがありました。陥し穴の多くは、ローム層直上の漸移層中で発見され、スベリ面と呼ばれる層ずれにより、開口部と底部がずれていました。



6区 天地返し痕（近世）



2区 J60号土坑（縄文）